片桐正三教授を送る辞

平成14年３月，片桐正三先生が定年を迎えられ退職された。先生は立命館大学を卒業後，早稲田大学大学院商学研究科へ進まれた。大学院在学中に企業経営研究所を設立され，自ら所長となり，経営コンサルタントとしても出発された。大学院修了以来，その企業経営研究所の代表コンサルタントとして，多くの企業の指導に携わってこられている。経営コンサルタントとしては，流通関係，とりわけマーケティング関係が中心である。マーケティングでは，理論と実務の双輪を駆使され，両者の融合を目指してこられた。

このような実績を持たれた先生を，平成２年，大学院経営学研究科の教授としてお迎えすることができた。以来12年間，経営学研究科の教育研究で，多くの院生，学生がお世話になった。先生は後進の指導にとりわけ熱心で，博士後期課程では次代を担う研究者を育てられ，博士前期課程においては，豊かな経験と実践に裏打ちされたお話を通じて，経営学研究科の中枢の講義をご担当され，数多くの学生に慕われている。先生のコンサルタント，マーケティングに関する知識経験は，日本国内はもとより，広く世界各国の事情に通じたもので，おかげで経営学研究科の充実発展のために，計り知れない力をお借りすることができた。

温厚，実直なお人柄で，決して権威の上に座すような方ではなく，講義が終わったあとも少しでもお話を聞こうと，多くの学生が先生の周りにまとわりついて離れようとしなかったのが印象に残っている。先生にささやかながらこの論文集を献呈し，これまでの先生のご尽力にいささかなりとも感謝の意を表したい。併せて，これからもご健康に留意され，末永くご多幸に過ごされんことを念じあげる。

平成14年４月

経営学部長　小　池　俊　隆